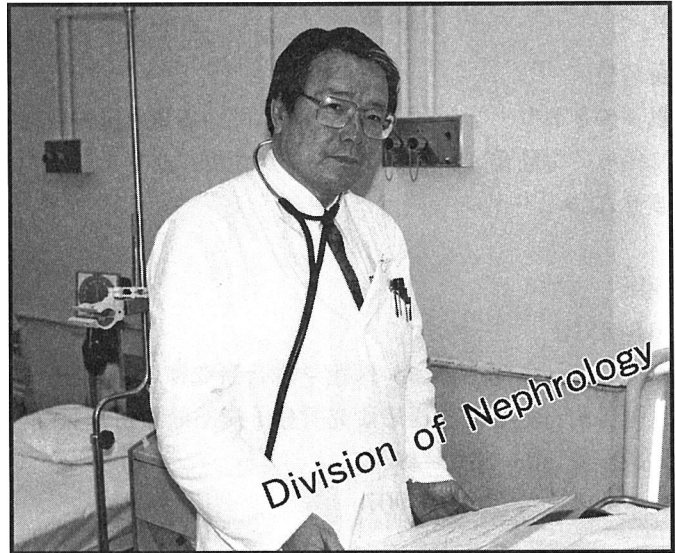


追悼文 故 内藤 説也 先生

略 歴

生年月日 昭和 10 年 4 月 8 日生
昭和 35 年 九州大学医学部医学科卒業
昭和 36 年 九州大学医学部第一内科入局
昭和 37 年 東京医科歯科大学遺伝病研究施設助手
昭和 39 年 九州大学医学部第一内科副手
昭和 44 年 Postdoctoral Scholar, Division of
Transplantation Immunology, Department of Surgery, University of California, Los Angeles, Prof. P. Terasaki
留学
昭和 46 年 九州大学医学部第一内科講師
昭和 48 年 福岡大学病院助教授
平成 2 年 福岡大学病院教授(腎センター)
平成 7 年 日本組織適合性学会主催(福岡)
平成 13 年 福岡大学医学部名誉教授
平成 19 年 12 月 9 日 永眠



内藤説也先生は退任後も地域の病院に非常勤医師として週3回ほど診療をされていました。持病の糖尿病もしっかりコントロールされて我々の会合にも元気に出席されていました。ところが、去年、膀胱腫瘍が見つかり、膀胱全摘術を受けられましたが、肺に転移し、最後は呼吸不全でお亡くなりになりました。本当にあっという間に逝ってしまわれました。

私は卒業してすぐに内藤先生の下に師事し、以来23年間お世話になりっぱなしでした。思い起こせば内藤先生とはアメリカに2回、ヨーロッパに1回、オーストラリアに1回、アジアに3回もお供させていただき、本当に楽しい思い出ばかりです。病院では厳しい指導を受け、時には憎らしいと思うこともありましたが、旅先ではいろんな経験をさせていただきました。内藤先生は皆様ご存知の Terasaki 先生に師事された日本人第1号と聞いております。ロサンゼルス of Terasaki 先生のご自宅にお邪魔したときも内藤先生から Terasaki 先生のルーツは久留米らしいよと聞いていたので、地図を持っていったところたいそう喜んでいただきました。

平成7年には日本組織適合性学会を福岡で開催しました。ちょうど博多山笠の時期でしたので皆様もご記憶にあると思います。Terasaki 先生を始めとして多くの会員の皆様に来ていただきました。内藤先生もサービス精神が旺盛でしたので今では考えられないことですが、毎晩宴会をしたのを覚えています。

12月11日ご葬儀がおこなわれました。会員の皆様よりたくさんのご弔電をいただき、内藤先生も喜んでおられると思います。本当にありがとうございました。

内藤先生、本当にお世話になりました。これからも高いところから私たちをお見守りください。

福岡大学医学部腎臓・膠原病内科
小河原 悟

事務所移転のお知らせ

日本組織適合性学会事務局が移転しました。

会員各位

以下のとおり、学会事務局が置かれている東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野が移転しました。移転に伴って電話番号、ファクス番号が変更になりましたのでお知らせします。なお、メールアドレスには変更ありません。

新住所

〒113-8510

東京都文京区湯島 1-5-45 医歯学総合研究棟 (II) 22F

東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野内

電話番号: 03-5803-4906

ファックス: 03-5803-4907

日本組織適合性学会

事務局担当理事 木村彰方

第 17 回 日本組織適合性学会大会のご案内

第 17 回 日本組織適合性学会大会
大会長 佐田 正晴

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 17 回日本組織適合性学会大会を下記要領にて開催いたします。本大会は「MHC の臨床応用：移植医療から再生医療へ」をメインテーマに第 44 回日本移植学会総会(会長：高原 史郎・大阪大学大学院医学系研究科先端移植基盤医療学講座)との同時開催とすると共に、両学会会員の相互理解を深めるため共同シンポジウムの企画や学術発表の相互聴講を可能にしました。また「4th World for Organ Donation and Transplantation (世界移植デー)」(WHO, 日本移植学会, 厚生労働省主催), 「Osaka Kidney Transplantation Forum 2008」や市民公開講座も同時開催されます。多くの皆様の参加をお待ちしております。

会 期： 2008 年 9 月 19 日(金)～9 月 21 日(日)

会 場： 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51
Tel. 06-4803-5555 Fax. 06-4803-5620
<http://www.gco.co.jp/japanese.html>

大会内容

以下の学術プログラムを予定しています。

1. 特別講演
山中 伸弥 教授(京都大学・再生医科学研究所)
「iPS 細胞—その作成から臨床応用へのストラテジー」(仮題)
2. 招待講演
Siamak Bahram 教授 (Strasbourg, France)
「MIC genes: from bench to bedside」
3. JSHI/JST 合同シンポジウム
「臓器移植と既存抗体—その検出と臨床応用」(仮題)
4. 教育セミナー
5. シンポジウム
「医用ミニブター移植医療から再生医療へ」(仮題)
6. ワークショップ
7. 一般演題, 2008 年度学術奨励賞発表
8. QC ワークショップ
9. ランチョンセミナー, その他

一般演題募集要項

1. 発表形式

発表形式は口演またはポスターにより行います。演者は本学会員であることが必要です。発表形式(口演またはポスター)に関しましてはプログラム委員会に一任下さい。

2. 申し込み方法

1) 演題の申し込みは E-mail でのみ受付けます。

- ・ 件名は「17JSHI 演題」として下さい。
- ・ ① 演題申込書, ② 抄録の2つのファイルを添付書類とし, sada@ri.ncvc.go.jp 宛に送って下さい。

2) 演題申込書ファイルの作成(下記見本を参照下さい)

- ・ 抄録とは異なるファイルを作成下さい。
- ・ 演題カテゴリ番号, 演題名, 演者, 所属, 代表者の連絡先住所, 電話番号, FAX, E-mail アドレスを必ず記載下さい。
- ・ 演題カテゴリ(それぞれ基礎および臨床を含みます)

番号	カテゴリ
1	臓器移植
2	造血幹細胞移植
3	細胞・組織移植
4	再生医療
5	疾患
6	免疫
7	技術・方法
8	疫学・統計解析
9	動物 MHC
10	その他

演題カテゴリ番号: 1

演題名: 腎移植後の抗体関連型拒絶反応に対する IVIG 療法

演者: ○角田洋一¹⁾, 佐田正晴²⁾, ○○○○²⁾, ○○○○³⁾, 高原史郎³⁾

¹⁾ 市立池田病院・腎センター, ²⁾ 国立循環病センター・再生医療部, ³⁾ 大阪大学・先端移植基盤医療学

連絡代表者の氏名: 佐田 正晴

代表者の連絡先住所: 〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1

国立循環器病センター・再生医療部

電話番号: 06-6833-5012 (内線 2516) FAX 番号: 06-6835-5496

E-mail: sada@ri.ncvc.go.jp

3) 抄録形式(下記見本を参照下さい)

- ・抄録は Microsoft Office Word のテキストファイルを用い作成下さい。
- ・フォントは MS 明朝で作成下さい。
- ・演題名, 演者(発表者に○印), 所属(正式名称が長い場合には省略所属名), 本文の順で作成下さい。
- ・本文は MS 明朝 11 ポイントで作成, 800 字以内を厳守し, 目的, 方法, 結果, 考察などに分類し記載下さい。英数字は半角文字を使用し, 2 文字で 1 字とします。

腎移植後の抗体関連型拒絶反応に対する IVIG 療法

○角田 洋一¹⁾, 佐田 正晴²⁾, ○○○○²⁾, ○○○○³⁾, 高原 史郎³⁾

1) 市立池田病院・腎センター, 2) 国立循環病センター・再生医療部, 3) 大阪大学・先端移植基盤医療学

- 【目的】 Flow cytometry crossmatch (FCXM) や FlowPRA を腎移植・・・
 【方法】 移植前に FCXM, FlowPRA により既存抗体陽性症例に・・・
 【結果】 HLA-DP 抗体症例を機能廃絶群と機能維持群にわけ・・・
 【考察】 IVIG または Rituximab を移植前に投与すれば AMR を・・・

3. 演題申し込み締め切り

2008 年 5 月 31 日(土)必着

締め切り延長などは日本組織適合性学会 HP で随時更新します。

4. 演題受理通知および採択通知

- ・演題受付後 7 日以内に, E-mail または FAX にて演題受理を通知いたします。
- ・演題発表形式(口演 / ポスター)および発表日時につきましては, 2008 年 8 月上旬頃までに, E-mail または FAX にて連絡代表者へ通知いたします。

参加登録費

理事・評議員	会員
¥ 12,000	¥ 10,000

本年度は事前登録を行いませんが, 本参加登録により同時開催される第 44 回日本移植学会総会, 4th World for Organ Donation and Transplantation (世界移植デー), Osaka Kidney Transplantation Forum 2008 や市民公開講座へ全て無料で参加・聴講が出来ます。

懇親会

2008 年 9 月 20 日(土) 19:00 より学会会場隣接のリーガロイヤルホテルにて懇親会を開催いたします。

懇親会は日本移植学会と合同で行い, 参加費は無料です。

宿泊・交通のご案内

本大会の宿泊・交通に関しましては, 各自ご手配お願いいたします。9 月, 大阪市内では多くの学会や研究会

が予定されていますので、お早めに予約されることをお勧め致します。

2008 年度学術奨励賞の募集

第 17 回日本組織適合性学会大会に応募された一般演題の中から、特に優秀と認められた演題の筆頭演者に学術奨励賞が授与されます。詳細は JSHI ホームページおよび MHC 誌 Vol. 14, No. 3 に掲載されている「2008 年度学術奨励賞の募集について」をご参照ください。

大会事務局

- 本大会の企画および一般演題に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1

国立循環器病センター・先進医工学センター 再生医療部 内

第 17 回日本組織適合性学会大会事務局

担当：島本 ひとみ，高岸 貴子

TEL. 06-6833-5012 Ext. 2516 FAX. 06-6835-5496 E-mail: sada@ri.ncvc.go.jp

- 本大会の運営，展示などに関するお問い合わせは，下記にお願い致します。

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-6-13 コングレビル

株式会社コングレ

第 17 回日本組織適合性学会大会

担当：伊藤 隆文

TEL. 06-6229-2555 FAX. 06-6229-2556 E-mail: tak-ito@congre.co.jp

その他

大会情報は今後刊行される MHC 誌上，および日本組織適合性学会ホームページで随時更新致します。

組織適合性検査技術者認定制度 平成 20 年度・認定 HLA 検査技術者講習会のお知らせ

組織適合性検査技術者認定制度委員会

委員長 佐田 正晴

組織適合性検査技術者認定制度委員会教育部会

部会長 西村 泰治

日 時：平成 20 年 9 月 20 日(土)あるいは 21 日(日)の予定(詳細は次号ならびに学会ホームページにて御案内いたします。)

場 所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

参加費：2,000 円(テキスト代を含む)

内 容：各講習とも質疑応答を含めて、35 分を予定しています。なお講習のタイトルは、今後、若干変更される可能性があります。

- (1) HLA-DNA タイピングから個人の全ゲノム情報解読の時代へ
安波 道郎(長崎大学・国際連携研究戦略本部)
- (2) HLA 抗体検出テクニックについて
中島 文明(日赤中央血液研究所・研究開発部)
- (3) 腎移植とクロスマッチ・HLA 抗体検査：臨床側からの要望
小林 孝彰(名古屋大学医学部免疫機能制御学寄附講座)

この講習会は、今後 HLA 検査技術者認定を取得、あるいは更新しようとする者を対象に実施されますが、それ以外の者であっても自由に参加することができます。受講希望者には、以下の申込書に必要事項を記入し、熊本大学大学院医学薬学研究部・免疫識別学分野宛に FAX (096-373-5314) で平成 20 年 7 月 31 日(月)までに送付してください。あるいは、E メールで件名を「HLA 講習会」とし、申込書の必要事項を書き込んで「midorifu@kumamoto-u.ac.jp」宛に、上記締め切り日までに送信してください。テキストは、申込数に応じて作成し、申込者に優先して配布します。そのため当日の申し込み者については、テキストの配布を受けられない場合がありますことを、あらかじめご了承ください。なお参加費は平成 20 年 8 月 31 日(木)までに、指定の郵便振替口座(口座番号：00160-7-482142、口座名称：組織適合性技術者認定制度委員会)に振込んでください。振替用紙の通信欄に、受講(予定)者の所属、氏名とともに、「平成 20 年度認定 HLA 検査技術者講習会受講料」と記載してください。参加費前納者には、事前に講習会資料を送付させていただきます。なお受講申し込みをされ参加費を振り込まれた方で、当日欠席された方には返金できませんことを御了承ください。

平成 20 年度・認定 HLA 検査技術者講習会 受講申込書

(書き込み可能な申込書を、学会ホームページからダウンロードできますので、そちらも御利用ください。)

FAX 送信先：096-373-5314, E メール送信先：midorifu@kumamoto-u.ac.jp

氏 名：

所 属：

住 所：〒

電 話 番 号：

FAX 番 号：

E メールアドレス：

HLA 検査技術者認定取得予定 ☐なし ☐あり → 平成 年度を予定

組織適合性技術者認定制度委員会・部会名簿 (2008 年)

組織適合性技術者認定制度委員会

委員長：佐田 正晴

副委員長：小林 賢

委員：赤座 達也，石川 善英，猪子 英俊，太田 正穂，木村 彰方，酒巻 建夫，佐治 博夫，
田中 秀則，中島 文明，成瀬 妙子，西村 泰治，徳永 勝士

資格審査部会

部会長：小林 賢

副部会長：田中 秀則

部員：柏瀬 貢一，中島 文明，成瀬 妙子

教育部会

部会長：西村 泰治

副部会長：成瀬 妙子

部員：太田 正穂，小河原 悟，木村 彰方，小林 賢，酒巻 建夫，佐治 博夫，佐田 正晴，
徳永 勝士，中島 文明，平山 謙二，丸屋 悦子

試験問題検討部会

部会長：太田 正穂

副部会長：石川 善英

部員：石谷 昭子，大橋 順，小河原 悟，柏瀬 貢一，木村 彰方，小林 賢，高原 史郎，
田中 秀則，徳永 勝士，中島 文明，西村 泰治，平山 謙二，丸屋 悦子，屋部 登志雄

QC ワークショップ部会

部会長：木村 彰方

副部会長：成瀬 妙子

DNA 部門長：酒巻 建夫

DNA 副部門長：安波 道郎

抗体部門長：赤座 達也

抗体副部門長：中島 文明

部員：太田 正穂，柏瀬 貢一，小林 賢，田中 秀則，佐田 正晴，丸屋 悦子